

## 資料3

報道発表資料  
平成21年6月18日  
気象庁

第113回火山噴火予知連絡会  
全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成21年2月18日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

### ○ 全国の主な火山活動

今期間（2月18日～6月17日）、浅間山、三宅島、桜島、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、2月の噴火以降も、時々ごく小規模な噴火が発生しました。地震、地殻変動および火山ガスなどの観測データから中規模噴火の可能性は低いと判断し、4月7日に噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。2008年6月以前と比べて火山活動は引き続き高まった状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕昭和火口では、2月28日から4月10日にかけて噴火が度々発生し、3月10日の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が昭和火口から2km付近まで達しました。また、4月9日の爆発的噴火では、噴煙高度が火口縁上4,000mを超え、火砕流が昭和火口の東側約1kmまで流下しました。引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から1km程度の範囲に噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、GPSによる地殻変動観測で2008年9月以来続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が2月以来鈍化しており、また、二酸化硫黄の放出量が1月以来減少していることなどから、3月18日に噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

### ○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

#### 1. 北海道地方

- ① 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕←平成21年4月10日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表し、噴火警戒レベル2（火口周辺規制）からレベル1（平常）に引き下げました。
- ・火山性地震の発生状況は1月下旬以降概ね低調に推移し、火山性微動は3月19日以降発生していません。噴煙活動も次第に低下してきています。

- ・GPS連続観測では、2008年10月初め頃からやや広域の地殻変動が観測されていましたが、2009年4月以降その変化は鈍化しています。浅部の膨張は認められていません。
- ・火山活動は落ち着いた状態となっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったことから、4月10日に火口周辺警報を解除しました。

② 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・62-2火口付近では2006年以降、GPSによる地殻変動観測で62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる局所的な地殻変動がみられ、現在まで継続しています。
- ・62-2火口付近の地震活動及び同火口の噴煙活動や熱活動は低調に推移していますが、今後、これらの活動が高まった場合には、火口周辺に影響を及ぼすような小規模な噴火が発生する可能性があり、注意が必要です。

③ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いています。
- ・地震活動や噴煙活動は低調な状態ですが、今後の活動の推移に注意が必要です。

④ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

## 2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2008年11月11日に大穴火口で噴気活動が活発化し、その後も大穴火口では高さ50～400mの白色の噴気が観測されています。噴気には二酸化硫黄および硫化水素が含まれていることが確認されました。噴気活動は大穴火口のみで観測されており、一切経山や、大穴火口以外の場所では、地表面温度等の変化は認められません。
- ・火山性地震は1月にやや多く発生しましたが、2月以降は少ない状態が続いています。
- ・大穴火口周辺での地殻変動観測では、2008年8月頃からの火山性地震の増加にあわせ、わずかに伸びる変化が観測されていましたが、その後縮みの変化に変わったとみられます。その他の広域の地殻変動観測では変化はみられていません。
- ・大穴火口での噴気活動は継続していますので、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑥ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成21年3月31日より安達太良山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成21年3月31日より磐梯山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。

- ・5月10日に火山性地震が一時的に増加し、4月12日と5月12日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が観測されましたが、それ以外の火山活動に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成21年3月31日より那須岳に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成21年4月10日に噴火予報を切り替えました(噴火警戒レベル1(平常)継続)。

- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発化がみられ、山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要なことから、4月10日に噴火予報を発表しました。その後も同地域では熱活動の活発化が継続しています。

③ 浅間山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)] ←平成21年4月7日に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表し、噴火警戒レベル3(入山規制)からレベル2(火口周辺規制)に引き下げました。

- ・3月15日、4月14日、30日、5月3日、27日にごく小規模な噴火が発生しました。

- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は依然多い状態が続いているものの、3月以降減少していること、2月2日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められないこと、傾斜計による地殻変動観測で火山活動によるとみられる特段の変化は認められないことから、山頂火口から4 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、4月7日に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、昨年7月初め頃からの深部へのマグマ貫入を示すわずかな伸びの傾向が、引き続き観測されています。
- ・地震活動は引き続いてやや多い状態が続いています。
- ・2008年6月以前と比べて火山活動は引き続き高まった状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね2 kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）] ←平成21年3月31日より箱根山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・GPS、光波距離計による地殻変動観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続しています。短期的には2008年夏からの

伸び変化が1月頃からほぼ停滞しています。

- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・4月1日、18日、および5月25日に、振幅のやや大きな火山性地震が発生し、それぞれ風下の山麓の東側、南東から南にかけて、および山頂火口の南南西方向で、微量の降灰がありました。これらのうち4月1日は有色噴煙でごく小規模な噴火を確認しました。他の2件は悪天で噴煙の状況は不明ですが、ごく小規模な噴火と推定されます。
- ・二酸化硫黄放出量是一日あたり1千～3千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化はみられません。
- ・引き続き三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
- ・多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

⑬ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・地震活動は落ち着いた状態で経過しています。2006年8月以降みられていた島全体が大きく隆起する地殻変動は現在も継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑮ 福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・中岳第一火口南側火口壁の噴気孔はやや拡大しており、ごく少量の火山灰の噴出が時々観測されました。また、南側火口壁の噴気孔で火炎現象が引き続き観測されました。
- ・孤立型微動は4月以降やや多い状態で経過しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は少ない状態で経過しました。
- ・中岳第一火口の湯だまりの量は2007年10月頃から緩やかに減少しています。

- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

③ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 霧島山

新燃岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴煙がみられており、火口内に影響する程度の火山灰等の噴出が発生する可能性がありますので、警戒が必要です。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←平成21年2月19日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を、3月2日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を、3月10日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）の切り替えを、4月24日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）をそれぞれ発表しました。

- ・昭和火口では、2月28日から4月10日にかけて噴火が96回（爆発的噴火は65回）発生しました。3月10日の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が昭和火口から2 km付近まで達しました。また、4月9日の爆発的噴火では、噴煙高度が火口縁上4,000mを超え、火砕流が昭和火口の東側約1 kmまで流下しました。この噴火により薩摩半島の広い範囲で降灰が確認されました。その後も、小規模な噴火が時々発生しました。
- ・南岳山頂火口では、小規模な噴火が時々発生しました。
- ・二酸化硫黄の放出量はやや多い状態が続いています。
- ・昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、長期的には次第に活発化している傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されています。今後、始良カルデラの地下深部に蓄積したマグマが桜島直下へ多量に移動・上昇した場合には、火山活動が活発化する可能性があります。
- ・桜島では、引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から1 km程度の範囲に噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑥ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震は3月下旬以降増加しています。
- ・硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね

1 kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑦ 口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←平成21年3月18日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）からレベル2（火口周辺規制）に引き下げました。

- ・GPSによる地殻変動観測では、2008年9月以降続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、2009年2月以降鈍化しています。また、2008年9月から12月頃にかけて、二酸化硫黄の放出量が増加していましたが、1月以降減少しています。
- ・火山性微動は4月から増加していましたが、5月中旬をピークに減少傾向が認められます。
- ・噴煙活動はやや活発な状態が続いています。
- ・全磁力繰り返し観測では、新岳火口直下での熱的な高まりを示すと考えられる変化が引き続き認められました。
- ・5月14日に実施した現地調査では、新岳火口の熱活動、噴煙活動ともに活発な状態でした。
- ・新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね1 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑧ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・<sup>おたけ</sup>御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。
- ・<sup>としまむら</sup>十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時々少量の降灰を確認しました。
- ・火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・今後も<sup>おたけ</sup>御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

---

注) 噴火警戒レベルは平成21年6月18日現在、25火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	新瀧焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)	
福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)	



	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山 (新燃岳)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山 (御鉢)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では平成19年12月1日に噴火予報 (平常) を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、バルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

